
深谷 謙二

FUKAYA Kenji (1926～2014)

大正15年(1926)7月21日大阪市に生まれ、平成26年(2014)11月28日死去、享年88歳。獣医師。祖父は麻布獣医畜産学校(現・麻布大学)第9代校長の深谷敬一。趣味は読書、囲碁、野球であり、熱烈な阪神タイガースファンであった。また、四水会など中学・高校・大学関係の幹事、高齢者の体操会「厚健会」副会長なども務め、各界からの信望が厚かった。

【学歴】昭和20年(1945)都立高等学校高等科(理3)を卒業、昭和23年(1948)4月東京大学農学部畜産獣医学科を卒業。

【経歴】昭和23年9月株式会社朝倉書店に入社し、昭和43年(1968)1月同社取締役・編集第二部長となり、昭和47年(1972)10月同社取締役・企画部長となった。昭和50年(1975)6月朝倉書店を依願退社し、同年7月株式会社文永堂に入社した。その後、文永堂で編集企画部長、編集顧問を歴任した。昭和56年(1981)に株式会社文永堂から分離した文永堂出版株式会社に移籍した。平成3年(1991)7月同社を定年退職した。その後有限会社グロースインターナショナル顧問などを歴任した。

【業績】株式会社文永堂、文永堂出版株式会社にて数多くの自然科学書(獣医学書、農学書)を企画、編集した。『臨床獣医学』、『家畜の心疾患』、『犬糸状虫』、『新繁殖学辞典』、その他多数の書籍の出版に携わった。また、白井恒三郎『日本獣医学史』の復刻版の出版にも携わった。

日本獣医史学会創立3年後からの会員で、理事、常務理事を経て平成19年から22年(2007～2010)まで第5代会長を務め、退任後は顧問に就任して長年にわたって学会の発展に指導的役割を果たした。特に、平成16年(2004)の『日本獣医史学雑誌・41号』に寄稿した「日本獣医史学会一設立の経緯と30年の歩み」は、学会設立当時の歴史を後世に伝える貴重な記録となった。

小佐々 学(KOZASA Manabu)・杉浦勝明(SUGIURA Katsuaki)

